

## ～平成29年12月議会定例会冒頭挨拶～（H29.12.4）

平成29年第6回定例会を開催するに当たり、一言御挨拶申し上げます。

寒さ厳しき折、12月議会を招集いたしましたところ、公私とも御多用の中、御参集いただき、御審議賜りますことに厚くお礼申し上げます。

さて、早いもので、今年も後ひと月を切りました。

7月には、最近の異常気象を象徴するかのような九州北部豪雨が発生をし、多くの皆様が被害に遭われ、犠牲になりました。

改めて、お見舞いとお悔やみを申し上げますとともに、これら、幾多の犠牲と悲しみ、無念を心に刻み、教訓としていかなければならないと、切実な思いでございます。

ところで昨年は、町制施行80周年の記念すべき年に当たり、議員の皆様をはじめ、町民の皆様とともに、町を挙げての記念の祝賀を挙行了たところですが、今年には更に、新たな節目、新たな町づくりに向けて、スタートを切った、そういう年でなかったかと思えます。

今年1月、早々には、大町町の課題であった町立病院の経営見直しの問題に対しまして、議員の皆様には、賛否両論ある町民の思いを真摯に受け止めていただき、熟慮をいただきました。

そして、様々な立場や、ご自身のお考え、苦しい葛藤もお有りの中で、老朽化した病院本体の建替え問題、病院の運営状況、町の財政状況等に鑑みていただき、大町町の10年後、20年後を見据え、先送りすることなく、町の行く末に大きな影響を与える重要な課題として、「巨樹の会・新武雄病院」に有償譲渡する旨の、決議をいただきました。その勇気あるご英断に心からの敬意と感謝を申し上げます。

また、地元から強い要望がございました教育施設である杵島商業高校近傍への新興宗教団体進出問題につきましても、相手方の厚意的なご配慮のもと、道場建設等予定地を、町が購入し、町有地とすることにつきましても、満場一

致でご承認をいただきました。

今後の大町町の活性化、雇用促進等のために、企業誘致をはじめ、大町町にふさわしい最適な利活用に向けて最善の策を講じていきたいと思っているところでございます。

それから、先の11月20日からの東京出張につきましては、永尾議長をはじめ、お忙しい中、帯同、ご助言、ご助勢をいただきまして誠にありがとうございました。

お陰を持ちまして、石井国土交通大臣をはじめとする国土交通省幹部の方々や、国道・河川関係の有力者・陣内孝雄先生、自民党二階俊博幹事長をはじめとする与党幹部の皆様へ直接、そして、町執行部と議会が揃って、町の事情、要望等を訴えることができたことは、大変有意義なことであったと確信をしております、大町町の実情、ご理解いただけたのものと、思っております。

要望書の内容につきましては、後もってお配りしたいと思います。

(詳細につきましては、当HP町政欄議会会議録をご覧ください。)

今後も引き続き、町民の皆様とともに、  
～町民の声が届く笑顔あふれる元気な町づくり～に取り組んでまいります。